

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（開成中）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校運営方針を理解し、一歩ずつ進めよう。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・今年度の重点のうち、地域との連携について「職場体験」「ボランティア」については協議して生徒の活動に結びつけた。
- ・学校が目指す生徒像を理解し、学校に対する評価の低い内容について、先生方の指導のほか、どうすれば良いか協議された。
- ・学校教育目標「夢に向かい共に磨き合う心豊かな生徒の育成」に向けて協議するために、疑問点等は出し合ってグランドデザインを良く理解するところから始めることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校が課題だと考えている点に加え、委員が課題だと考えている点について意見を出し合い、教育活動の充実のための優先順位について認識の擦り合わせができたと考えている。
- ・アンケート、データの資料をもとに校長はじめ先生方から委員の積極的な意見交換は、出来ている。
- ・ICTの活用に関する課題は共有し、意見を出し合ったり職場体験に繋がったりする試みができたのではない。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・さくら連絡網を使用し、協議会に参加出なかった者を含め速やかに情報提供が出来た。
- ・アンケート結果、データ収集、蓄積が適切に出来ていると感じる。配布されたデータをもとに校長、先生が考えを述べて、委員も積極的に議論出来ていた。
- ・開成中ホームページに協議資料、会議録が掲載されており、協議会の内容は「見える化」している。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・今年度は学校を理解し一歩ずつ進めることが目標だったが、来年度は理解した学校像に則した学校や地域の連携を探れると良いと考えている。
- ・初年度を終えて、協議会が多少理解できたので、生徒や地域の取組を把握し、学校運営の改善、及び生徒の教育活動の充実を図る。
- ・今年度の目標で、運営方針を理解する方向には進んでいるので、来年度は地域・学校・PTAの協力・連携するためのより良い形、方法の形成を進めていきたい。